

平成31年度に向けた教育委員会の施策の基本方針

～とくしまの未来を切り拓く、夢あふれる「人財」の育成に向けて～

平成30年11月定例会(付託)
文教厚生委員会
教育委員会

地方創生から日本創成へ！ 「徳島ならではの」教育の推進

①個性、可能性を最大限に伸ばす教育の推進

- ・新たな「徳島県キャリア教育推進指針」に基づくキャリア教育の推進
- ・探究活動を中心とした深い学びの実現による社会を牽引していく「人財」の育成
- ・本県初の中等教育学校「城ノ内中等教育学校」の開校準備（2020.4.1開校）
- ・発達障がい等のある子供たちへの多様かつ重層的な取組による切れ目ない支援の推進

②人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

- ・地方と都市を結ぶ「デュアルスクール」のモデル化に向け実証研究を実施



③徳島からの「教育イノベーション(技術革新)」

- ・教育の多様化と効率化に向けた、ICTを効果的に活用した教育活動の推進

④災害を迎え撃つ防災教育の推進

- ・県立学校施設の長寿命化の推進
- ・児童・生徒・教員の防災対応能力の向上と地域防災の担い手育成

一人ひとりが輝く！ 徳島の未来を育む教育の推進

①確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成

- ・鳴門教育大学と連携した「授業改善」等の実施による学力の向上
- ・スクールカウンセラー等専門家との協働による教育相談体制の充実

②未来を拓く教職員の育成

- ・業務の適正化と外部人材を活用した教育力向上を推進する「チーム学校」の実践

③学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

- ・地域ぐるみで子供たちの成長を支える「放課後子供教室」や「地域未来塾」の推進
- ・子供たちの健やかな育ちの基盤である「家庭」の教育力向上に向けた支援の充実

④時代の潮流を見据えた学びの推進

- ・児童・生徒による「エシカル消費」推進に向けた取組成果を全国へ発信
- ・成年年齢引下げを見据え、消費者庁等と連携し、地域とのつながりを意識した「消費者教育」の推進



総理大臣表彰（H30）

グローバル社会で活躍！ 徳島から世界への扉をひらく 教育の推進

①徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

- ・文化財の保存と活用を推進し、県内外に地域の魅力を発信
- ・「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」申請登録へ、機運醸成

②世界に羽ばたくグローバル人財の育成

- ・英語4技能の総合的でバランスの取れた育成による児童・生徒の英語力向上
- ・小・中・高校の各ステージで、「英語交流体験活動」の実施

③国際舞台で躍動するアスリート、アーティストの育成

- ・「NEO徳島トップスポーツ校」を指定し、競技力強化の重点化
- ・近畿高等学校総合文化祭徳島大会の成果をレガシーとして、次世代に継承

④世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

- ・県立博物館常設展のリニューアルに向けた取組の推進
- ・「日本最古級恐竜化石含有層」の調査研究の実施



発見された竜脚類恐竜(想像図)